

みやぎ蔵王ハーモニー花回廊



ガーデン・ツーリズム登録制度

令和5年度 登録計画事業実施報告



みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会

令和6年3月

○具体的な事業の実施状況

1) 情報発信事業（協議会ホームページの構築）

（1）事業概要

- ・実施主体：みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会
- ・実施時期：令和4年10月～

（2）実施概要

構成庭園を中心とする観光情報が集約する当協議会独自のホームページの製作・公開を行った。

URL：<https://www.harmony-hanakairou.jp/>

2市9町のイベントカレンダーを掲載



花カレンダー		
山形県	内務部	宮城県
3月	クリスマスローズ（ あさひの里公園 ）	なし
4月	チューリップ（ あさひの里公園 ）	なし
5月	チューリップ（ あさひの里公園 ）	なし
6月	チューリップ（ あさひの里公園 ）	なし
7月	チューリップ（ あさひの里公園 ）	なし
8月	チューリップ（ あさひの里公園 ）	なし
9月	チューリップ（ あさひの里公園 ）	なし
10月	チューリップ（ あさひの里公園 ）	なし
11月	チューリップ（ あさひの里公園 ）	なし

2) プロモーション活動の展開事業（モデルツアー事業）

（1）事業概要

2市9町に点在する花風景と観光資源を結び観光客がゆつくりと様々な地域の資源を楽しんで頂けるようモデルツアーを実施

- ・実施主体：みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会
- ・実施時期：①令和5年10月1日（日）、②令和5年12月16日（金）

（2）実施概要

①下記のコースを秋のモデルツアーとして設定

船岡城址公園での花の鑑賞→宮寿司での食事→アトレイユでのデザート
→果樹園での梨狩り体験→酪農センターでの買い物→遠刈田温泉の散策
参加者：28名（大人23名 子供5名）

②下記のコースを冬のモデルツアーとして設定

うらにわアトリエで創作体験→おおがわら桜イルミネーション見学及びキッチンカーでの食事
→Shibata Fantasy Illumination 見学
参加者：9名（6組 大人9名）

2023年10月 ガーデンツーリズムモニターツアー「第11回しばた曼珠沙華まつり」観賞と蔵王への旅

★★★★★ (5) 3,000円(税込) 予約・申込中

2023年度
ガーデンツーリズムモニターツアー
「第11回しばた曼珠沙華まつり」観賞と蔵王への旅

ご旅行代金
大人お一人様 3,000円・税込

設定日
2023年
10/1
(日)

〇ツアー参加の条件として、ツアー終了後に10問程度のアンケートにご協力いただきます。
〇このツアーは「官民連携まちなか再生推進事業」による助成金が適用されます。

日時	旅行行程	食事	宿泊先
1	■各自にて仙台駅東口にご集合をお願いします(8:50) 仙台駅東口出発(9:00)⇒船岡城址公園にて「第11回しばた曼珠沙華まつり」観賞 9:50-11:20⇒蔵王町「宮寿司」にて特製花寿司の昼食 11:45-12:35 ⇒ ヨーグル工房 Atreyu(アトレイユ) 12:55-13:35 ⇒ 蔵王町内果樹園にて季節のフルーツ狩り 13:45-14:55 ⇒ 蔵王酪農センターにてお買い物 15:00-15:40 ⇒ 遠刈田温泉街 散策 15:50-16:30 ⇒ 仙台駅東口到着 (17:20 到着予定)	昼食	日帰り

2023年度
ガーデンツーリズムモニターツアー
「おおがわら桜イルミネーション」
「Shibata Fantasy Illumination」
二つのイルミネーションをめぐる旅

ご旅行代金
お一人様 3,000円・税込

設定日
2023年
12/16
(土)

〇ツアー参加の条件として、ツアー終了後に10問程度のアンケートにご協力いただきます。
〇このツアーは「官民連携まちなか再生推進事業」による助成金が適用されます。

日時	旅行行程	食事	宿泊先
1	■各自にて仙台駅東口にご集合をお願いします(15:20) 仙台駅東口出発(15:30)⇒「うらにわあとりえ」にてフラワーアレンジメント体験 16:15-17:25 ⇒ 大河原駅にて下車し「おおがわら桜イルミネーション」観賞 17:40-18:20 ⇒ 船岡城址公園にて「Shibata Fantasy Illumination」観賞 18:30-19:30 ⇒ 仙台駅東口到着 (20:20 到着予定) ※夕食は各会場のキッチンカーなどで各自お召し上がりください	なし	日帰り

3) 宮城大学との連携（るるぶ&モアによる情報発信）

（1）事業概要

- ・実施主体：みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会
- ・実施時期：令和5年8月～12月

（2）実施概要

宮城大学では、地域の歴史・文化・資源を活かしたコミュニティづくりや、地域の人々と共に問題解決ができる人材（コミュニティプランナー）の育成を目指したプログラムを展開しており「ナラティブ（地域からの物語）」を意識した、県南地域におけるガーデン・ツーリズムの取り組みをフィールドとして、協議会と大学が連携して、ツーリズムの構築に取り組んでいく。

令和5年度は地域情報の整理を行うとともに、るるぶ&モアを活用したツアーコースの検討・情報発信を行った。

URL : <https://rurubu.jp/andmore/article/20827>



○その他特筆すべき取組と成果

1. 構成自治体及び民間事業者での連携強化

(1) 事業概要

- ・実施主体：みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会
- ・実施時期：令和6年11月6日（月）

(2) 実施概要

構成自治体職員等を対象とした研修会

構成自治体の担当者を対象として、今後の役割や可能性を確認し、これからの都市公園の更なる発展のための新たな手法、視点による最新情報の提供・共有化も目的に講習会に参加。

「地域の人や資源、歴史を活かした公園・まちづくり」

主催：一般財団法人公園財団

2. キッチンカー事業

(1) 事業概要

「キッチンカー事業」に着目し、各地域のイベント等にキッチンカー事業をマッチングし、「食」に着目した賑わいづくりを推進していく。

- ・実施主体：みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会
- ・実施時期：①令和5年10月8日（日）9時から17時
②令和5年12月15日（金）16時から20時

実施概要

キッチンカーフェス事業として下記で開催

- ①村田町布袋まつり
- ②おおがわ桜イルミネーション



3. 未来ビジョン素案検討

①花修景そして自然環境の維持・保全

みやぎ蔵王ハーモニー花回廊の花修景は、自然環境や人の営み、生業で生まれたものなど幅広い資源によって成り立っている。これらの環境を維持・保全することは、環境の保全であるとともにそれを育む生業等を残していくことにつながり、自然と文化の継承となっていく。

②体験や学びを通して、自らが地域の生活・文化・歴史等を継承

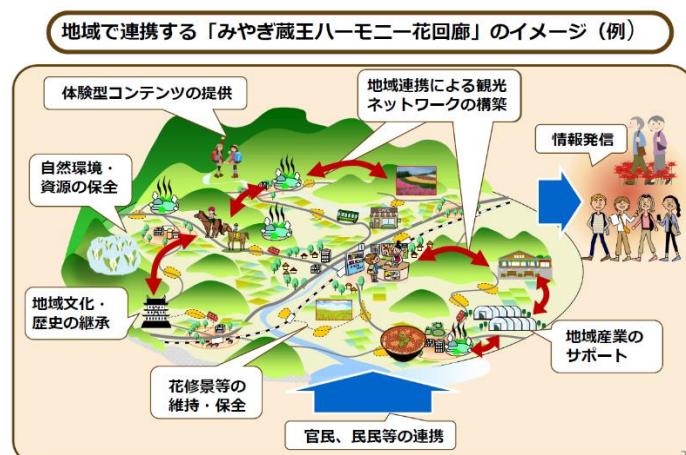
体験学習等の観光プログラム等により来訪者に地域を学び・絆を結ぶとともに、地域の関係者そのものが生活や文化、歴史等を継承し愛着を育んでいく。

③花修景や食・文化等を育む地域産業をサポート

庭園、花木産業、果樹花等はそのものが産業であり、県南の風土が育んだ温泉、食、アクティビティ等の経済活動がガーデン・ツーリズムそのものである。これらの産業が地域に根差して活性化することで持続的なツーリズムを成していく。

④官民等の地域の担い手の協働によりツーリズムの活性化

地域の資源をつなぎ合わせて価値の高いツーリズムを提供するためには、各市町、官民、民間事業者同士の協働の取組みが必要であり、各主体・担い手の連携を活性化することで、持続的なツーリズムを繋いでいく。



みやぎ蔵王ハーモニー花回廊の独自性

蔵王連峰から沿岸部までの圏域が一体となることで、一つの地域（市町）では得られない式を通じた多彩な魅力の提供することができる。（四季を通した花修景、蔵王連峰から沿岸部まで点在する天然温泉、山の幸・海の幸、多彩な食文化、各地域の歴史・文化の広がりなど）

推進課題

地域に点在する資源を結び付け、面倒な観光地形成に向けた各市町や官民、事業者同士の連携が必要であり、そのためには、各市町や官民・事業者同士の連携に向けた取り組みや進め方の方針・ロードマップの共有が不可欠である。

これからの取組み

これから3年間をツーリズム育成期として各主体が自ら参加・事業実施に取り組めるようにする準備期間として位置付け、各主体の取組み促進に向けた情報発信、モデル事業の実施、民間事業者のプラットフォーム形成等を推進する。



〇まとめ

全体を通しての効果や成果

令和4年4月に東北地方初のガーデン・ツーリズム制度の登録となり、協議会活動推進の気運が高まったものの、コロナ禍の影響が根強く、各構成庭園におけるイベント等が開催できない状況が続いた。そうした中でも、コロナ終息後のガーデン・ツーリズムの本格始動に向けて、当協議会のホームページの更新や講習会等を通じた機運の醸成に取り組んだ。

初めてモニターツアーを開催し、柴田町のイルミネーション、フラワーアレンジメントが高い評価を得たが、キッチンカーフェスの満足度が低い評価となってしまった。今後満足度を高めるためには、キッチンカーの種類、台数、待ち時間の軽減等を行っていくことが重要であるとする。

今後の取組

令和6年度も官民連携まちなか再生推進事業を活用した未来ビジョンの策定に着手します。

【取組の主な計画】

①未来ビジョンの策定

地域全体の観光振興、地域活性化の指針となる未来ビジョンの策定を行う。令和5年度の素案から、「目指す姿」の方向性等、多様な専門人材と連携し、デスティネーション・デザインを取り入れ具体化する。

②モニターツアーの継続実施

令和5年度に引き続き実施、検証する。令和6年度は春コースを実施予定。

③周遊を促す施策の実証実験

・モデルルートの造成

モニターツアーの結果を受け、季節に応じたモデルルートを造成する。

・地域資源の整理とPR

かねてより収集してきた観光資源等の情報を整理し、観光客に訴えかけられるストーリーを組み立てる。歴史的背景や空間的な位置関係による横のつながり等、地域の物語をつくり、内外に対してPR出来る素材をつくる。

・共通スタンプ等の実施

地域内の周遊を促していくため、観光資源同士をつなぐ仕掛けを検討し実施する。

・地域通貨導入の検討

地域内での内需要拡大を図るため、観光客に特化した地域通貨の導入の可能性調査を実施する。

④るるぶ（仮）宮城県南版の制作

上記の実証実験や未来ビジョン策定に向けた取り組みを受け、るるぶ（仮）宮城県南版の発行を目指す。